

平成19年度外部評価（中間）

【評価基準】 A...自己評価は適当である B...自己評価は適当でない
 C...外部評価は可能であるが資料不足 D...外部評価は不可能である。

領域	短期経営目標	評価指標・評価基準 成果指標（めざす児童の姿）		参考資料	自己 評価	外部評価部会記入欄	
						評定	自由記述
学 力 の 向 上	学ぶ意欲を引き出すための 指導法工夫改善に取り組む。	4	授業への理解度（満足度）90%以上		2.4	C	【工夫改善】 ・どんな工夫をしたかを具体的に、 あるいは具体物で確認する必要がある。 その上で評価したい。 ・教師の所感が学年ごとになってい るので、どのレベルが分からなし ・学年により注意や指導の内容が変 わるため判断が困難。 【国語力】 ・学年により注意や指導の内容が変 わるため判断が困難。 ・「クラスあるいは学年によってか なり実態に差がある。」とあるがそ の理由について分析し、改善方法を 考える必要がある。 ・状況に応じた基本となる話し方や 聞き方をパターン化したものを、学 年に応じてつくるのも一つの方法。 【書き方】 ・指導する教師に「書き方の評価基 準」に対する疑問が見て取れる。 ・学年ごとの指導目標（基準）が分 からないため、教師の所感に対する 判断がつかかねる。 【漢字】 ・習得状況を確かめるテストは当然 必要であるが、身につけさせるため のテストも有効ではないか。（抜粋 してミニテスト） ・板書をノートに書くとき、急ぐの で平仮名で書きやすい、板書の工夫 も必要。 【人間関係】 ・どんな時、どんな声かけをしてい るのか具体が知りたい。 【言葉遣い】 ・教師の言葉遣いも影響が大きい。 特に授業中は敬称を付けて呼名する ように、全校で徹底できないだろう か。 【体験学習】 ・後半に主要な活動が計画されてい るので、現時点では適当でない 【早寝】 ・数値が上がりにくい項目である。 家庭の事情を考慮して、画一的な基 準にならないように工夫が必要かも しれない。（例）家庭環境、きょう だい関係などを考慮する。 【その他】 ・全体に言えることだが、判断材料 が少なく、学年やクラスごとの、そ れぞれの項目に対する内容がほし い。 まとめ過ぎのように感じる。
		3	80%以上				
		2	70%以上				
		1	70%未満				
	国語力の向上を図る。	4	話し方・聞き方の評価規準をクリアできた児童		2.2	A	
		3	（低・中）85%以上 （高）75%以上				
		2	（低・中）75%以上 （高）70%以上				
		1	（低・中）65%以上 （高）60%以上				
	基礎学力の確実な定着を図る。	4	書き方の評価規準をクリアできた児童		2.2	A	
		3	（低・中）80%以上 （高）75%以上				
		2	（低・中）75%以上 （高）70%以上				
		1	（低・中）65%未満 （高）60%未満				
豊 か な 人 間 性 の 育 成	子ども同士、子どもと教職 員の温かい人間関係づくり に取り組む。	4	テストで80点をクリアできた児童	低・中 52%	1	A	
		3	（低・中）85%以上 （高）80%以上				
		2	（低・中）80%以上 （高）75%以上				
		1	（低・中）75%以上 （高）70%以上				
	言語環境を整える。	4	テストで前回よりも伸びた児童	高 37%	1	A	
		3	丁寧な言葉遣いで話すことができる児童90%以上				
		2	（低・中）85%以上 （高）80%以上				
		1	（低・中）80%以上 （高）75%以上				
	社会や自然とのかかわりを 強め、体験を通しての学習 を重視する。	4	（低・中）75%以上 （高）70%以上		2.0	B	
		3	（低・中）75%未満 （高）60%未満				
		2	自然や社会との関わりについて、気付きを自分でまとめる ことができる児童				
		1	95%以上				
健 康 ・ 健 康 ・ 体 力 つ く り	体力の向上を図る。	4	先生や友だちが認め励ましてくれると感じる児童95%以上		1.8	C	
		3	90%以上				
		2	85%以上				
		1	85%未満				
	家庭と連携し、基本的な生 活習慣の確立を図る。	4	丁寧な言葉遣いで話すことができる児童90%以上		2.0	A	
		3	（低・中）90%以上 （高）85%以上				
		2	（低・中）85%以上 （高）80%以上				
		1	（低・中）80%以上 （高）75%以上				
	泳力の向上を図る。	4	外遊び（投の遊びを含む）が日常化したと感じる児童		2	A	
		3	90%以上				
		2	80%以上				
		1	70%以上				
早寝の習慣ができていない児童	4	早寝の習慣ができていない児童	下学年 80%	2	A		
	3	（下）90%以上 （上）85%以上					
	2	（下）85%以上 （上）75%以上					
	1	（下）80%以上 （上）70%以上					
早起きの習慣ができていない児童	4	早起きの習慣ができていない児童	上学年 66%	1	A		
	3	（下）90%以上 （上）85%以上					
	2	（下）85%以上 （上）75%以上					
	1	（下）80%以上 （上）70%以上					
毎日朝食がとれている児童	4	毎日朝食がとれている児童	下学年 65%	1	A		
	3	100%					
	2	95%以上					
	1	90%以上					
家庭学習が定着している児童	4	家庭学習が定着している児童	上学年 46%	2	A		
	3	85%以上					
	2	75%以上					
	1	65%以上					
泳力2.5m以上の4年生児童80%以上	4	泳力2.5m以上の4年生児童80%以上	92%	2	A		
	3	70%以上					
	2	60%以上					
	1	60%未満					
泳力2.5m以上の4年生児童80%以上	4	泳力2.5m以上の4年生児童80%以上	55人/73人中 75%	3	A		
	3	70%以上					
	2	60%以上					
	1	60%未満					